



令和7年1月9日

三田市教育委員会
大阪教育大学

【全国初】教育機関が主体となり開発した AI 対話アプリ「MIRAI ノート」が完成！
～AI を活用し、何でも話せるコミュニケーションの場を創出～

学 校 公 開：三田市立ゆりのき台中学校 第2学年
2025年1月20日（月）14:15～16:20
実証結果報告会：大阪教育大学天王寺キャンパス「みらい教育共創館」
2025年3月6日（木）14:30～15:30

三田市教育委員会と大阪教育大学は、令和6年度から共同研究「MIRAI ノートプロジェクト」に取り組み、生成 AI を活用した対話による新たなコミュニケーションの場を創出する AI 対話アプリ「MIRAI ノート」が完成しました。教育現場への導入を目指し、一部の学校で「MIRAI ノート」の試験的利用による実証を行います。

つきましては、生徒が利用している様子などをご覧いただける機会として「学校公開」を実施しますので、ぜひ取材のご検討をいただきますようよろしくお願いいたします。

また、試験的利用をした児童生徒へのアンケート調査や利用状況のデータを収集し、検証を行います。その結果報告会については、改めて案内させていただきます。

記

1. プロジェクトの背景と概要

(1) 社会的背景

コロナ禍など、近年の社会情勢や環境の変化に伴い、児童生徒が抱える悩みも多様化しています。本市を含め不登校は増加傾向にあり、生徒指導上の課題も複雑化しています。

(2) 本市の取り組み

三田市立小中学校で学期ごとに実施している生活アンケートから、小学校高学年以上の学年で「困ったときに誰にも相談しない」という児童生徒が1割程度いることが分かっています。身近な友だちや大人に話したいことを話せる環境は大事ですが、思春期の児童・生徒にとって話したくても話せない思いがあるのは自然なことです。

このような背景から本市は、多様な性格や経験を設定した AI キャラクターが存在する AI 対話アプリ「MIRAI ノート」の開発に取り組みました。このアプリにより、児童生徒が「時間を問わずいつでも」「関心を持ったさまざまなテーマ」で対話することで、抱える思いを誰にも遠慮せずに言葉にし、安心して自由に表現できる場となることを期待しています。将来的には、不登校の兆候の早期発見、早期支援による学びの継続などに役立つ可能性を秘めていると見込んでいます。

(3) AI との対話で期待する効果の例

- ① 相手との関係性を気にせず話せることで、本音や不満など、抱えている思いを遠慮せずに表出できる。
- ② どのような内容であっても話せることで、関心のあることや自分の考えなどを、安心して自由に表現できるコミュニケーションの場となる。
- ③ 自分のペースで整理しながら話せることで、適切な言葉かけや自己開示について振り返りながら体験的に学べる。



2. AI 対話アプリ「MIRAI ノート」の機能紹介

＜MIRAI ノートの由来＞

AI と対話する未来の世界を体感できて、自分の気持ちを書き留め、整理するノートとして名付けました。MIRAI の中には機能の根幹を担う「AI」を含んでいます。

＜今日のふりかえり＞

「今日の気分」などを選択式で回答してから「今日のふりかえり」を書き込みます。その後、書き込んだ内容を AI が判断し、AI トークで対話するキャラクターをオススメしてくれます。

＜AI トーク！＞

自宅などで、じっくり自分と向き合うために使う機能。「何にもしられたくない、自由を愛するお兄さん」や「いつもニコリな小学校の優しい保健の先生」など、8人のキャラクターからお気に入りの相手を選んで会話することが可能です。学校での出来事や興味のあること、自慢話、困ったことの相談など、どんな話題でもそれぞれの経験や立場から返答してくれます。



※このアプリ開発には、シナジーマーケティング株式会社（所在地：大阪市北区、代表：奥平博史）が生成 AI を活用して開発した日常描写型顧客理解ツール「DAYS GRAPHY」を応用し、アプリ UI 開発及びキャラクターデザインは株式会社エボルブ（所在地：大阪市北区、代表：安松亮）のゲーム開発のノウハウを活用しています。

3. 学校公開（取材対応）について

日時：令和7年1月20日（月）14:15～16:20（13:45受付）

場所：三田市立ゆりのき台中学校

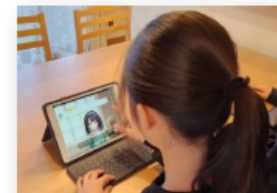
（兵庫県三田市ゆりのき台2丁目1-1）

※取材をご希望の場合は、事前に下記問い合わせ先へご連絡ください。（ご都合のつかない場合はご相談いただけますと幸いです）

（参考）

実証期間：1月9日（木）～22日（水）

対 象：三田市立ゆりのき台中学校等
児童生徒 約350人



出典：三田市HPよりダウンロード
<https://www.city.sanda.lg.jp/soshiki/65/taitsu/seitoshidou/MIRAInote/30902.html>
 三田市学校教育部 使用許諾取得済み

スマートポールの取組み

- 東京都の協働事業者として、2022年1月21日より、西新宿エリアにて新型スマートポールを設置



JTOWER



つながる

5Gアンテナ基地局、高速Wi-Fiによる快適な「つながる」環境の提供

つたわる

エリア情報、行政・商業広告、「Lアラート」との連携で非常時の情報発信としても活用

みえる

防犯カメラによる安全管理、人流解析カメラを活用したデータ分析、環境センサーから得られる情報をスマートシティ化に活用

出典：総務省HPより一部抜粋
<https://www.soumu.go.jp/main/content/001019048.pdf>
(株)JTOWER社使用許諾取得済み

スマートポール搭載機能

JTOWER

■ 5G無線基地局やWi-Fiは、躯体内部に収容



機能	詳細
5G無線設備 スペース提供	5G無線基地局・アンテナ設置場所を 提供（ポール内部へ設置）
高速Wi-Fi アクセスポイント	Wi-Fi6の提供 (NTT東日本ギガらくWi-Fiを活用)
防犯カメラ	クラウド型カメラによる撮影(NTT東日本 ギガらくカメラを活用)
人流計測カメラ	4Kカメラで取得した画像を映像AI解析 機能を活用して解析
センサー	データ収集・分析を行うIoTプラットフォー ムを活用
サイネージ	SCALA株式会社製デジタルサイネージを 活用

出典：総務省HPより一部抜粋
<https://www.soumu.go.jp/main/content/001019048.pdf>
(株)JTOWER社使用許諾取得済み

資料3-1

天竜区でのスターリンク実験（画像は全て岩田）

12月4日 市民クラブ 岩田邦泰 代表質問資料

11月24日(月)天竜スーパー林道・林道水汲線・戸倉線にて実験



林道水汲線の入口



携帯電波が届かない場所
では、自動で衛星通信に
切替わりました

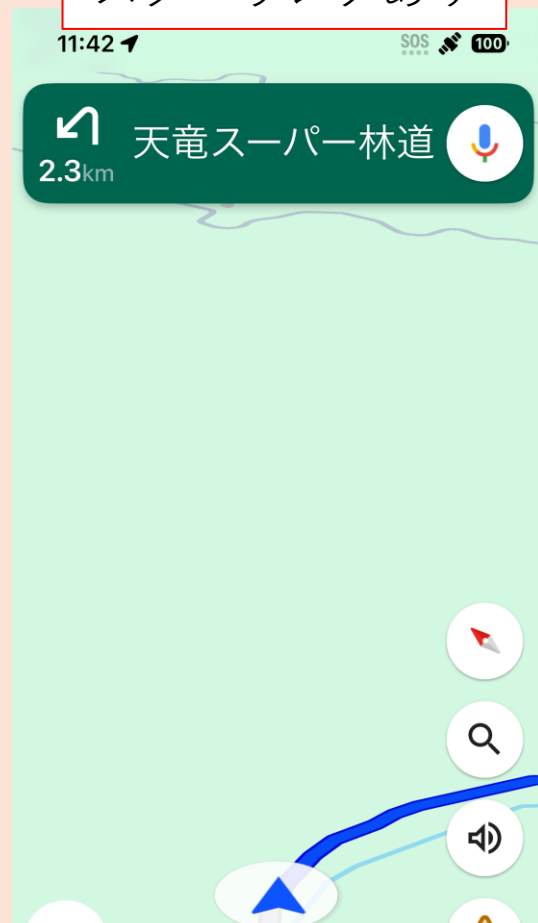


テスト機 au : iphone16e スターリンクサービスあり

スターリンクあり



戸倉線・西ヶ池線分岐付近は割と空が見える状態。衛星電波強度は最小でしたが…

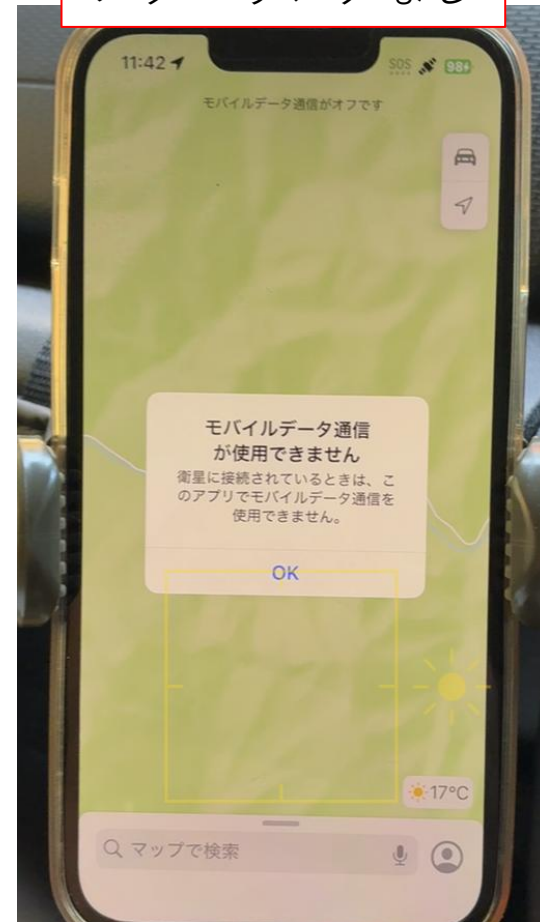


GooglemapsにGPSでの現在地が表示されました。この後もmapは使用可能でした



地図だけでなく、テキスト・画像送信に加え、位置情報の共有もできました

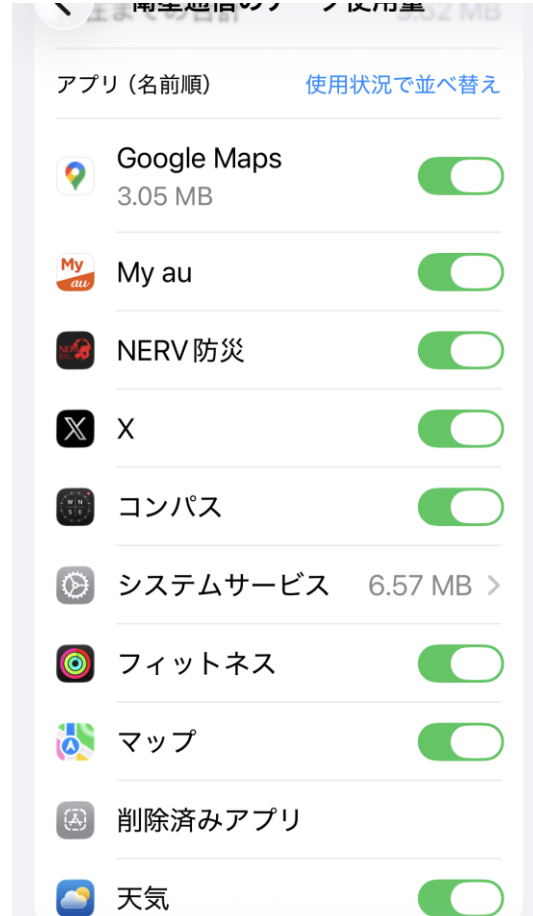
スターリンクなし



通常の携帯ではこうなります。この後地図も非表示になり、真っ白になりました



ここまで木が茂ると、さすがに電波が届きませんでした。少し先に進めば、また通信が復活しました。



今回は全機能の実験とはいきませんでした。これらの機能が使える様です。ご参考まで。

まとめ

- ・当日は祝日という事もあり、林業に従事している方はおらず、対向車も追い抜いていく車もない、ちょっと心細くなりそうな林道だったが、自分がどこにいるのか地図で見られるため、あまり心配せず、通行することができた。
- ・LPWAでは専用アプリでのテキスト通信に限られていたことに対し、普段使いしているアプリが使えることは便利と感じた。LINEなどが使えるようになると一段と便利になりそう。
- ・現場・現実・現状で、できることを試してみて、活用方法を考える必要がある。通常の電波が届く街なかの机の前で考えても「きっと使えない」と考えてしまいがち。体験会的なものを実施してはどうかと考える。

官民連携プラットフォーム一覧

	課名	取組名	開始年度
1	企画課	浜松市SDGs推進プラットフォーム	H31
2	デジタル・スマートシティ推進課	浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム	R2
3	デジタル・スマートシティ推進課	浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム	R2
4	アセットマネジメント推進課	浜松市官民連携地域プラットフォーム	H27
5	スポーツ振興課	はままつインクルーシブスポーツ連携プラットフォーム	R6
6	一般廃棄物対策課	はままつ循環経済パートナーズ	R7
7	産業振興課	浜松市創業サポート運営協議会	H26
8	カーボンニュートラル推進課	浜松市カーボンニュートラル推進協議会	R5
9	カーボンニュートラル推進課	浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム	R5
10	農業水産課	浜松市ユニバーサル農業研究会	H17
11	農業水産課	浜松スマート農業推進協議会	R3
12	林業振興課	浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会	H28
13	ウエルネス推進事業本部	浜松ウエルネス推進協議会	R2
14	ウエルネス推進事業本部	浜松ウエルネス・ラボ	R2

※市が特定の分野に関して民間団体を広く募り、官民や民民でマッチングするための官民連携組織

出典：企画調整部制作

災害時に備えた燃料備蓄の必要性

災害でライフラインが途絶

照明や電化製品、冷暖房、医療機器などが使用不可に!

地震

電気

STOP

台風

ガス

STOP

豪雨

水道

STOP



自治体庁舎・公民館



医療施設



老人ホーム・保育所



学校



商業施設

LPガスで自然災害に備えましょう!!

LPガス災害バルク等導入イメージ

LPガスが命をつなぎます

被災後3日間を乗り切る

災害により地域が孤立した場合、援助が被災地まですぐには届きません。ライフライン復旧までの約3日間を乗り切るためのエネルギー備蓄が必要と言われています。

LPガスの備蓄がカギに

LPガスを備蓄することで、災害後のライフラインを確保できます。下記のLPガス設備を導入することで「系統電力」、「冷暖房」、「給湯・調理機器」の使用が可能になります。

LPガス災害バルク等



※50kg容積の罐は6本以上



LPガス発電機



ポータブル発電機



コジェネレーション

発電機ユニット

電気



GHP (ガスヒートポンプエアコン)

空調機器ユニット

冷暖房



給湯器



炊き出し設備



ガストーブ



薪物のコンロ

燃焼機器ユニット

給湯調理機器



燃焼スタンドユニット

燃焼スタンドユニット

LPガス自動車

「石油製品タンク等導入補助金」令和5年度補正予算から追加となりました。災害時に3日以上以上の石油製品(燃料)を貯蔵・確保できるもの等と当該設備に接続する燃焼機器及び発電機が対象です。詳しくは当センターHP「自営的燃料備蓄補助金(LPガス災害バルク・石油製品タンク)」をご覧ください。

※補助対象設備は、系統電力・都市ガス・水道が全て止まった状態にある災害時に独立して稼働できる仕様のものに限り、個別設備については当センターにご相談ください。

LPガスで災害対策!!



(一財)エルピーガス振興センター
災害対応型LPガスバルク
供給システム説明動画→

※音が出ます
後ほどご参照ください



出典：(一財)エルピーガス振興センターHPよりダウンロード
<https://lpg-saigaibulk.com/lp/>
(一財)エルピーガス振興センター使用許諾取得済み